

指導体制

【プログラム責任者】

プログラム責任者 外科部長 山辻知樹（副院長、総合外科学教授）
副プログラム責任者 内科部長 黒川勝己（総合内科学教授）

臨床経験7年以上かつプログラム責任者養成講習会を受講している者。研修の企画立案及び実施の管理並びに研修医に対する助言、指導その他の援助を行う。すべての研修医が臨床研修の目標を達成できるよう、研修医に全研修期間を通じて指導を行うとともに、指導医には目標達成に必要な情報を提供、研修プログラムの調整を行う。

【指導責任者】

原則として当院の各科診療責任者。各科における研修指導の要であり責任者。各科の研修目標、プログラムを作成し、研修が滞りなくできるよう計画をたてる。研修期間の終了後、指導医、上級医、メディカルスタッフと情報を共有した上で、責任を持ってEPOC2評価を行う。

【指導医】

臨床経験7年以上かつ指導医養成講習会を受講済（もしくは受講予定）の者。各科指導責任者の指示に従って上級医・研修医に対して具体的な指導を行う。研修医評価を各科指導責任者に報告する。指導医の裁量を超える問題が派生した場合、速やかに診療責任者への報告義務を有す。

【上級医】

指導医の資格を有さないが、チーム医療上、研修医の直上に位置する医師で、日々の指導及び診療上の責任を有す。問題が派生した場合、速やかに指導医あるいは指導責任者への報告義務がある。上級医は研修医指導について、独自の裁量権は有さない。

【指導者】

医師以外のメディカルスタッフ（看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、事務職員等）で、各部門の指導的立場にある者。職種を越えて、研修医に対する指導を行う。